

作成日：2023年2月7日

## 研究協力のお願い

昭和大学藤が丘病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

術後再建腸管症例における経鼻胆道ドレナージ留置下スコープ挿入の有用性

### 1. 研究の対象および研究対象期間

2018年4月1日～2022年3月31日の期間に、昭和大学藤が丘病院で術後再腸管症例における胆膵内視鏡治療を受けた方を対象とします

### 2. 研究目的・方法

術後再建腸管症例の胆膵内視鏡治療は難易度が高く、目的とする腸管に到達することが困難であることも多いです。複数回の治療が必要な場合、初回に経鼻胆道ドレナージを留置し、2回目の挿入時には経鼻胆道ドレナージに沿ってスコープを挿入することで、目的部位までの挿入時間が短縮できる可能性があります。その有用性を検討します。

### 研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究機関の長の研究実施許可を得てから2024年3月31日までです

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

2018年4月1日から2022年3月31日までに藤が丘病院消化器内科において術後再建腸管に対して内視鏡治療を施行した患者さんの診療録の中から患者背景（年齢、性別、診断病名、既往歴、現病歴、併用薬）および内視鏡治療項目（スコープの種類、用いた処置具、スコープ挿入時間、総処置時間、偶発症）を調査項目とします。

### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：昭和大学藤が丘病院

所属：医学部内科学講座 消化器内科学部門

氏名：高野 祐一

住所：〒 227-8501 神奈川県横浜市青葉区藤が丘 1-30 電話番号：045-971-1151(藤が丘病院代表)  
研究責任者：高野 祐一